

ご挨拶・縁
最高齢者紹介
施設行事紹介
デイサービス・ショートステイの一日
きだきだ風邪に注意
誤嚥予防は姿勢から
介護技術発表会
施設年間行事予定
お世帯にゆいしました。 ボランティア紹介
三相園福祉会より



ご挨拶・縁

三相園福祉会
理事長 竹村義法



おかの花の紅梅も鮮やかなピンクに染まり春の訪れを告げております。

わたくし、昨年急逝されました小椎尾隆前理事長の後を受け、その重席を担うこととなりました。もとよりその器では御座いませぬが、皆様のご理解ご協力を頂きまして、法人事業の発展に微力ながら精進いたす所存で御座います。皆様のより一層のご支援をお願いいたします。

今回法人の原点である養護老人ホーム三相園移転改築事業は前理事長の悲願であり、より一層の深い思いがありました。

数々の問題に直面いたしました。前理事長の多くの方々との深く良い「縁」に助けられ完成を迎える事が出来ました。

三相園玄関ホールに杉の丸太が立っております。これは前理事長が、建設用地に生えていた木の中から選んで色々な思いをこめて建てたものです。

さて、平成二十八年度の事業計画には開園以来20年を迎えた「おかの花南棟」の大規模修繕を実施いたしたく思っております。

壁・天井等の内装、目に触れることの無い屋上・屋根の防水の劣化も限界に来ており、早い対応を迫られております。皆様には工事中

何かとご協力をお願いいたします。が、よろしくお願いいたします。



三相園玄関ホールの杉の丸太

土地を譲っていただいた方への感謝の気持ちや、この地を大切にしたい、そんな思いがあったのではないのでしょうか。

社会福祉法人 三相園福祉会

特別養護老人ホーム おかの花

併設

ショートステイサービス・デイサービスセンター・在宅介護支援センター・居宅介護支援事業所・ケアハウス保月の郷

兵庫県丹波市春日町山田170

TEL0795-74-1700 FAX0795-74-1708

<http://okanohana.jp>

発行

忘年会
食事前には
嚥下体操



最高齢者ご紹介

運動会
綱引きならぬ
紐巻き
「とびきりの
笑顔」
が見れました



クリスマス会
おかの花には
サンタとトナカイがいます



音楽の集い
癒しのバルーンで
クールダウン
ふわふわ～ゆったり♪



色とりどりの
スパークハーフ布を使用

施設内行事紹介

デイサービス・ショートステイの一日のようす♪

デイサービス・ショートステイでは、気持ちよく楽しくご利用いただけるように、スタッフ一力を合わせてお手伝いさせて頂いています。

おはようございます!!
ご自宅まで
お迎えに行かせて頂きます。



施設に着いたら
手洗いうがい
大切な感染予防です

午前のレクリエーション
その日によりメニューも
選べます。



今日はあじさい
ボランティアさんの
歌の合唱です。



楽しみの昼食!!
今日の献立は?



気持ちよく入浴タイム!!
体を動かしにくい方も
機械浴で入浴されます。



午後のレクリエーション
体操もがんばります!!



おやつを頂き



さようなら
次回もお元気で
ご利用くださいわ



♪ ショートステイご利用の方の 夕方以降のようす♪



お泊りのショート利用の方は
夕食までのんびりひととき



夕食をいただきます



各自お部屋で
おやすみなさい

まだまだ風邪に注意!!

～適切な予防を行いましょう～

1 手洗い・うがい

2 適度な温度と湿度の保持

室温は 18～20℃

湿度は 50～60%

3 十分な休養とバランスのとれた食事

4 マスクの着用



まだまだ風邪に注意

ペットボトルで水分を飲む際に咽こまれた経験がある人はいませんか？
食べ物や水分が誤って肺に入る事を誤嚥といいます。誤嚥予防のために、
まずは姿勢に注意してみましょう。

下記の写真のように顎を引いた状態が一番咽こみにくく、顔が上を向き顎が
上がると咽こみやすく危険です。



※ペットボトルで水分をそのまま飲むと、顎が上がり咽こみやすい姿勢になります。コップに移し変えるか、ストローを使用すると顎を引いた咽こみにくい姿勢で飲む事ができます。

誤嚥予防は姿勢から

その他

- ・食事は時間をかけてしっかりと噛んで食べましょう。
→噛む事で飲み込む力が改善されます。
- ・さらさらとした水分は食道に落ちるスピードが速く、誤って気管に入り咽込みやすいので注意しましょう。

※姿勢を工夫しても咽こみやすい方は、水分にトロミをつける等 食事形態を工夫する方法があります。

わからない事や困っている事があればおかの花職員までお尋ねください。

現在、高齢者福祉施設では全国的に、利用者の介護ニーズの多様化、人材不足に対応するために、介護職員のスキルアップが求められています。おかの花では各部署内で介護サービスの取り組みを発表する事で、介護技術の向上を目指しており、今回その取り組みについて紹介します。

特養南棟

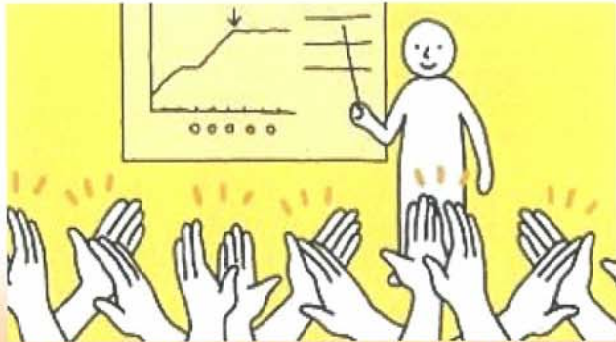
～安心していただける言葉かけについて～

特養南棟では「安心して安全な介助を受けて頂くこと」を目標とし、普段何気なく使っている「言葉かけ」が利用者様に、どのように受け止められているかを考え、4つの取り組みを行いました。

- ①目線を合わせて言葉かけを行う。
- ②笑顔で言葉かけをする。
- ③介助を行う前に行動の説明をする。
- ④職員が利用者様の立場になり実際に介護体験を行う。

今回の取り組みで、利用者様の表情の変化に気づく事ができ、どのように感じておられるかを考える事ができました。また、利用者様の笑顔が以前より多く見られるようになり、その事から介助を行う前に行動の説明を行う事が、安心につながる事が再確認できました。

職員が実際に利用者様の立場になり介護体験をした事で、車いすのスピードが思ったよりも速く感じたり、食事介助方法によって食べにくい等の介助を受ける側の気持ちを実感する事ができました。この体験を通して今後も、安心していただける言葉かけを大切にしていきたいと思えます。



特養北棟

～排泄処遇に関する個別対応の見直し～

北棟では、オムツ交換の時間帯やパットの種類など職員によって対応が違っており、排泄処遇が統一されて提供できていませんでした。また、汚れたオムツやパットを隠さずに直接処理室に運んだり、利用者様への言葉かけの内容が「トイレに行きますか？」等 プライバシーに配慮のない直接的な表現になっている事があったので、以下の取り組みを行うことにしました。

- ①職員全員が適切な介護サービスを提供できるように、利用者様の排泄環境を見直し、それぞれのニーズに合った介助方法や物品の内容をまとめ、職員間の情報共有をはかった。
- ②オムツは手提げ袋に入れて見えないようにして処理室へ運ぶ。
- ③プライバシーへの配慮のない直接的な表現は避け「お部屋に行きませんか？」等 他の方にトイレをご利用している事がわからないようにした。

排泄処遇情報の共有を徹底する事で、尿漏れの減少や、それに伴う不快感・皮膚トラブルの改善に繋がりました。

汚れたオムツを見えないようにして運ぶ事と、言葉かけを見直す取り組みによって、何気ない言葉・行動で利用者様に不快な思いをさせてしまっている事に気づき、プライバシーの大切さを再認識出来ました。

今回の取り組みを半年間かけて行ってきた事で、日々おこなっている業務や介助を見直す大切さについて改めて気づく事ができました。今後も職員同士が連携し、様々な工夫を行い、その人らしく生活していただけるように努めて行きたいと考えています。

